

平成28年度(事故繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	103 含みつ糖製糖施設近代化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ					
担当部課名	農林水産部糖業農産課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R1 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化 Ⅲ-1-(6) Ⅲ-9		
事業内容	製糖事業者の安定操業を確保することにより、地域の基幹産業「さとうきび・糖業」の持続的振興を図るため、製糖事業者の経営体質強化のための製糖事業者が取り組む製造コストの低減、品質の向上及び衛生管理の徹底等のための施設整備等に対する補助を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】		H27年度	H27年度(繰越)	H28年度	H28年度(繰越)	H28年度(事故繰越)		
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,806,630	0	3,661,765	0	0	
		(b) 予算現額	2,806,630	0	4,234,795	0	0	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	573,030	0	0	
		(d) 前年度繰越額	-	1,774,528	0	2,731,744	556,031	
		A. 計(b+d)	2,806,630	1,774,528	4,234,795	2,731,744	556,031	
	B. 執行済額		1,032,102	1,774,528	1,503,052	2,175,713	553,823	
	うち交付金充当額		825,682	1,774,528	1,202,441	1,740,570	443,059	
	C. 次年度繰越額		1,774,528	0	2,731,744	556,031	0	
	執行率(%) (B/A)		36.8%	100.0%	35.5%	79.6%	99.6%	
予算の状況の説明		<p>・多良間地区の製糖施設整備は平成27、28年度の2カ年事業の計画での整備予定で、平成28年度は、主に建築工事及び機械器具設置工事を予定していた。しかし、支持地盤が深いことから地盤改良が必要となったことに伴い基礎工法の検討が必要となり平成29年度へ繰越、また、平成29年11月以降、強風の影響により、建築工事のうち屋根、壁等の設置に係るクレーン作業が断続的に停止したことや、高波等の影響により建築工事に要する鉄骨の島内搬入の遅延などにより平成30年度へ繰越すこととなった。</p> <p>・最終的な執行率は99.9%であり、概ね計画的に執行できた。</p>						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	含蜜糖製糖工場の建替(平成27~28年度)		目標	1工場	1工場	-	-	
		実績	1工場	1工場	-	-		
進捗状況説明		<p>・昭和51年から約40年間稼働し、老朽化した多良間村の製糖施設について、衛生管理の徹底、製造コストの低減等を図るため、近代的な製糖施設の整備を行う多良間村に対して補助を行った。</p> <p>・平成28年度繰越事業については、概ね計画的に執行し、工場建替に寄与した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値	H27年度	H28年度	H29年度	目標値(一年度)	
	①甘しや糖の生産量(含蜜糖産糖量)		目標	-	9,011トン	9,085トン	-	-
			実績	-	7,443トン	9,642トン	-	-
進捗状況説明		平成28年度の「甘しや糖産糖量(含蜜糖産糖量)」は9,642トンとなり、目標を達成した。						

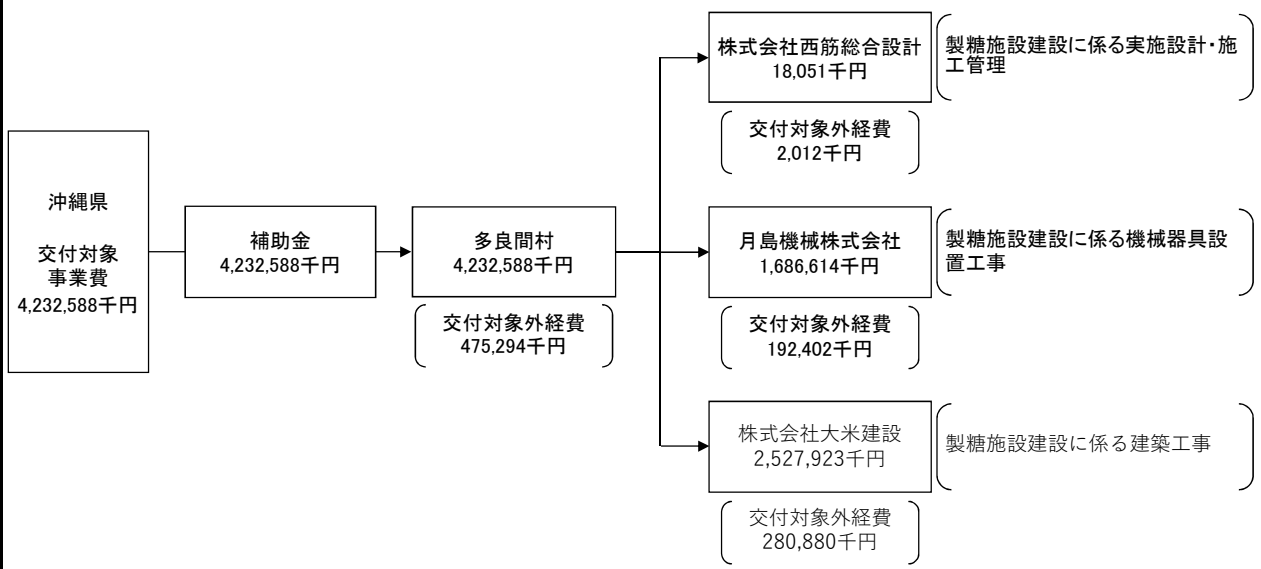
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 製糖施設の整備は、機器類の選定や設計等について、専門的な知識が必要であり、村職員のみでの対応は困難であるため、施設の指定管理を受ける製糖事業者と連携して事業を遂行した。 建設関係の受注量が県内外において増加しており、技術者や資材の確保に時間を要するなど、工期が長引く状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の早期執行を行い、工事期間の確保を図る必要がある。 事業実施主体である町村や糖業関係者との連携強化により、事業進捗状況を共有し、事業効果の早期発現につなげる必要がある。

今後の取り組み方針

・平成29年度から3カ年計画にて伊平屋村における製糖施設の建替を計画しており、村及び製糖事業者と連携を図りながら、事業の早期施行により工事工期の確保を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
4,707,882	4,232,588	3,386,070	846,518	0	0	475,294



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模は、さとうきび原料の量を勘案した施設整備の規模となっており、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	